

2007年7月25日(水)
 19:00~(入場は15分前)
 トーキョーワンダーサイト青山 クリエーター・イン・レジデンス
 無料(要前申込・通訳付)
 お名前、連絡先、申込人数、申込希望イベント名を明記のうえ、
 トーキョーワンダーサイトまでFAX。もしくはホームページ内のお問い合わせフォームからお申し込み下さい
 (材)東京都歴史文化財団(トーキョーワンダーサイト
 マーク・ルブラン、長内綾子(Survivart)、山村貞紀(慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構助教)

Date July 25th 2007 (WED.)
 Time 19:00- (door open: 18:45)
 Venue Tokyo Wonder Site Aoyama
 Admission Free(With Japanese-English interpretation)
 Booking FAX or Email to: contact@tokyo-ws.org
 Organize Tokyo Wonder Site
 Speaker Marc LeBlanc, Ayako Osanai(Survivart), Maki Yamamura(The Research Institute for Digital Media and Content, Keio University)

TALK SESSION | **マーク・ルブラン** [キュレーター] | Marc LeBlanc, Curator

2007/7/25, WED., 19:00 →
 TOKYO WONDER SITE AOYAMA CREATOR-IN-RESIDENCE

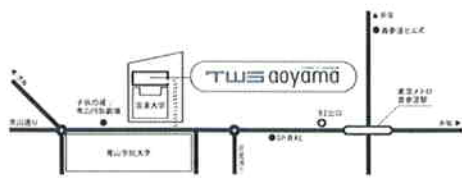
現代アートにおけるメディア・ネットワークの可能性
 マーク・ルブランはサンフランシスコ在住の若手キュレーター、執筆家です。世界的に注目を浴びるキュレーターで、サンフランシスコ・アート・インスティテュート(SFAI)でも教鞭をとるハウ・ハンルー氏の教え子でもあり、この度、トーキョーワンダーサイトに1ヶ月間滞在することになりました。滞在中には、日本のアーティストやキュレーターがmixiやYouTube、MySpace等の巨大なSNS(Social Networking Site)をどのように利用し、その影響を受けているか、また、そういった経験が、どのように活かされているかについてリサーチを進めていきます。
 今回のWednesday Loungeでは、ルブラン氏に加え、関心・研究領域が近く、若い世代でご活躍される、2007年4月にTWS本郷で行われた「Double Cast」展を企画し好評を得た長内綾子さん(Survivart)、山村貞紀さん(慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構)をお招きし、ご来場の皆様も一緒に議論に参加していただけるような、トークセッションを行なっていきます。若い世代のキュレーター、アーティストの新しい切り口による、アートとネットへの考察は必読です。

PROFILE
 2003年にシカゴ美術館附属美術大学で彫刻のBFAを修了し、2003年~2004年に、主にビデオ作品やインスタレーション、彫刻の分野を代表するアーティストを取り上げていた現代アートの1Rギャラリー(シカゴ)で企画を実施。また、シカゴのハケット・ライダー・ギャラリー(2006)、リサ・ボイル・ギャラリー(2007)、ロサンゼルスのコナクトスペース(2005)、SFAIでイベントや展覧会を企画。さらに、Beautiful Decay、Artillery Magazine、shotgunreview.comなど様々な美術出版物のためにレビューや特集の執筆、インタビューを実施。
 現在、サンフランシスコ・アート・インスティテュートで博物館・展示学の修士課程に在籍。修士論文では、現代美術の分野でオンライン・メディアやソーシャル・ネットワーキング・サイトが果たす役割に注目しています。

tokyo wonder site
 Institute of Contemporary Art and International Cultural Exchange Tokyo

TWS aoyama
 トーキョーワンダーサイト青山 クリエーター・イン・レジデンス
 Tokyo Wonder Site Aoyama Creator-in-Residence

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67
 コスモス青山SOUTH棟3F
 COSMOS Aoyama SOUTH 3F.
 5-53-67 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo 150-0001
 TEL: 03-5766-3732
 FAX: 03-5766-3742
 Email: contact@tokyo-ws.org
 URL: http://www.tokyo-ws.org



表参道駅 B2出口(東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線)より徒歩7分
 渋谷駅東口(JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/奥武蔵線・田園都市線/京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門線)より徒歩8分
 7 minutes' walk from Omotesando Station (Tokyo Metro Ginza Line, Hanzomon Line, and Chiyoda Line)
 8 minutes' walk from JR Shibuya Station East Exit (JR Yamanote Line, Saikyo Line, Shonan Shinjuku Line, Tokyu Toyoko Line, Tokyu Den-En-Toshi Line, Keio Line, Tokyo Metro Ginza Line, Hanzomon Line)

お車でご来館の場合は、近隣の有料駐車場をご利用下さい
 There is no visitors' parking space, please use the nearby parking lot



Installation photo of Machine Imaginaire, an exhibition curated by Marc LeBlanc for Lisa Boyle Gallery. On the left, a painting by San Francisco artist Anthony Record, and on the right three small framed pieces and a large drawing by Los Angeles artist Tam Demaree (2007)



Installation photo of The Beginning Of The End Of The Beginning, an exhibition curated by Marc LeBlanc for Bucket Rider Gallery. From left to right is a sculpture by Houston artist Jeff Williams, a series of drawings by Los Angeles artist Steve Canaday, and a sculpture by Los Angeles artist John Knuth (2006)